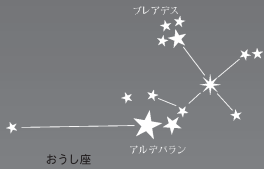


# ポラリスを仰ぐ北の大地から



## 流行語大賞候補（？）

室蘭市医師会 会長 稲川 昭

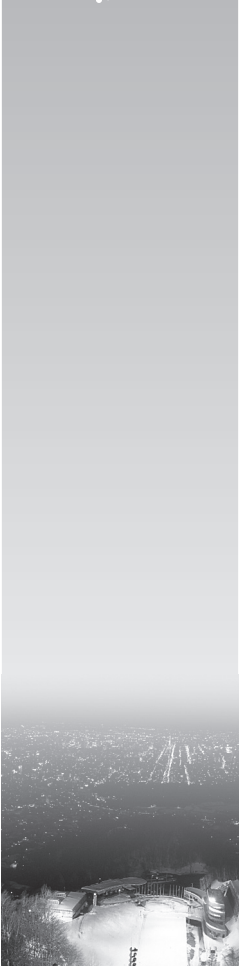
8月も過ぎ1年の3分の2が過ぎようとしております。安倍内閣絡みで年末の流行語大賞候補になりそうなものが随分出ているように思えます。

“バカかー、この禿げ！”。個人的には私の外見に関しますので大音量でテレビから流し出されるたびに嫌な思いをさせられています。孫正義さん曰く“髪の毛が後退しているのではない。私が前進しているのである”に“はげ”まされています。秘書虐待は永田町では日常茶飯事でしょうか。

“一線は越えていない”。不倫に関してはどうでもいいのですが、ようやく辞任した稲田元防衛大臣のファッションについて女房からいろいろ指摘があり、潜水艦視察でハイヒールを履いて艦内に入る映像やPKO現地閲兵視察時の白のパンツ姿などの映像を改めて見せられると常識の無さに、なるほど“一線を越えてしまっているな”と思ってしまいました。ファッションナブルになっている女性議員の服装も、TPOをわきまえた服装ができるかという視点も政治能力を見極めるため有用のように思われます。

“もりかけ疑惑”“村度村度”。日本の優秀な高級官僚と言われている人々が、宮仕えの悲哀か“ひらめ”きながらの様子が国会から流され、権力に対し一線を越えた“村度”が国政をゆがめている様子が垣間見られました。また調査で歌舞伎町を訪れたという告発官僚の私的行動を政権に“村度”した報道をしてしまったY新聞。一気に社説など読む気が失せた度を越した“村度！”でした。その後軌道修正しているようですが、日本の報道文化の大きな汚点として信頼回復に時間がかかりそうです。

権力に縁遠い医師会長職ですが9年目に入り、過去を振り返りながら改めていろいろな“村度”、“一線”に注意しなくてはと思う次第です。



## 道楽医師のたわごと…

網走医師会 会長 中山 衡司

徒然なるままに、日暮らし、硯に向かい、心に映りゆく由無し事を、そこはかたなく書きつくれば…。

実は、私の趣味は正直に言えば、酒と競馬です。

酒は、日本酒が好きで久保田の呼友<sup>こゆう</sup>を、入院対応を廃止してからは、ほぼ毎日呑んでいます。呼友との出会いは、17年前に国会議事堂の近くの永田町の「瓢亭」<sup>ひょうてい</sup>に妻と行った際に酒を注文したところ、「久保田の万寿はどうですか」と言われ、「他にはないですか」と聞くと、「北海道から来たのであれば、町村信孝先生や中川昭一先生が呑む酒があります」と、出してきたのが呼友でした。

以後、新潟の“まいどや酒店”から取り寄せています。尿酸値と肝機能等を時折チェックし、おいしい酒を呑んでいます。

競馬も、44年のキャリアがあります。出身大学が、東京の帝京大学でしたので、空港と浜松町を結ぶモノレールの車窓から、大井競馬場が見えたのがきっかけです。ハイセイコーブームの時でもありました。

2年前には、馬主登録をしました。しかし、共同馬主で、自己所有馬はありません。

現在は競馬場に行く暇がなく、テレビで見る機会がほとんどです。

人様は、単なる趣味だ、道楽だと言われるかもしれませんが、極々「個人」にふける時間もなければ、私共は、医療でのストレス解消や、日常生活での潤いを保てなくなる、とも思う次第であります。